

第 2 期
上牧町まち・ひと・しごと
創生総合戦略

令和 5 年度事業の検証に関する提言書

令和 7 年 3 月
上牧町総合計画等外部検証委員会

目 次

1. はじめに	1 ページ
2. 検証の概要	1 ページ
3. 提言書	3 ページ
基本目標①	5 ページ
<u>若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える</u>	
基本目標②	19 ページ
<u>上牧町への新しい人の流れをつくる</u>	
基本目標③	27 ページ
<u>地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる</u>	
基本目標④	35 ページ
<u>誰もが働きやすい環境をつくる</u>	

1. はじめに

本町では、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づき、本町が目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示す「上牧町人口ビジョン」及び、町民と行政とが連携して、本町の人口減少への対策に取り組むことを目指し、5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策等をまとめた「第1期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年度に策定し、令和元年度に計画期間を2年間延長する改訂を行いました。

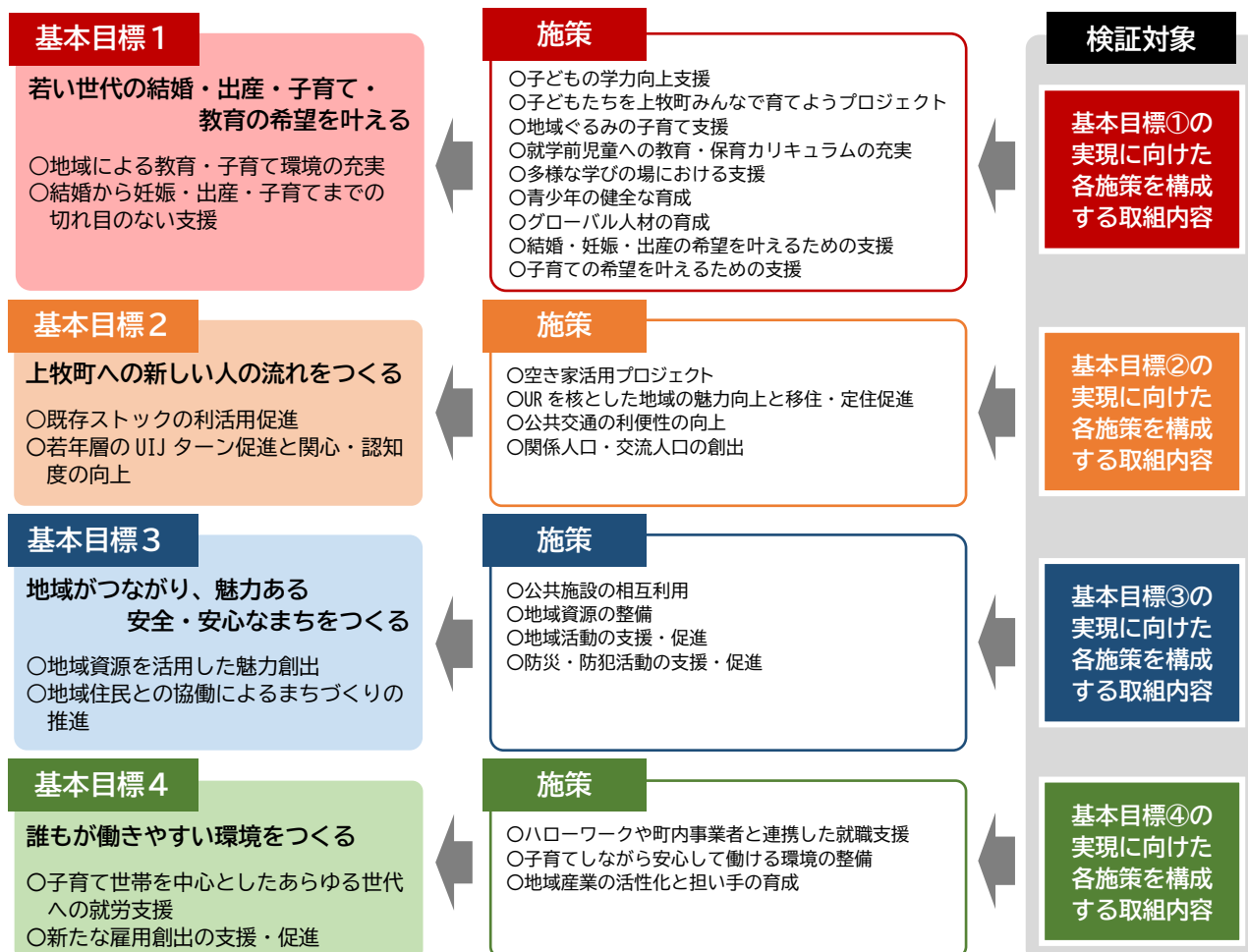
その後、令和3年度に上牧町の最上位計画である総合計画との整合性を図るとともに、より実効性のあるまちづくりを展開するため、総合計画と人口減少に対応する具体的な取組をまとめた「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第2期総合戦略」という。）を統合して策定し、第2期総合戦略においては、総合計画の取組をより一層強化するプロジェクトとして位置づけています。

第2期総合戦略の進行管理にあたっては、まちづくり基本条例の基本原則のひとつである「PDCAサイクル」を十分に機能させるため、町民、議会のほか産官学勤労言で構成された「上牧町総合計画等外部検証委員会」（以下、「外部検証委員会」という。）を設置し、取組内容の評価及び検証を行っており、これまでの成果と課題、社会情勢、町民ニーズ、本町の方向性など、様々な観点から取組内容に関する助言・提案がなされましたので、このほど提言書としてとりまとめました。

2. 検証の概要

(1) 評価・検証の対象

第2期総合戦略に掲げる20の施策に位置づけた47の取組内容を評価・検証の対象としています。



(2) 評価主体について

第2期総合戦略の評価主体は、第2期総合戦略に記載されている担当課で自己評価を行い、それをもとに本町幹部職員により構成される「内部検証委員会」で実施内容や評価を精査し、町としての評価を行っています。その後、「外部検証委員会」において実施内容、評価について客観的、専門的見地から様々な観点で検証を行い、最終的な評価としています。

(3) 評価の方法

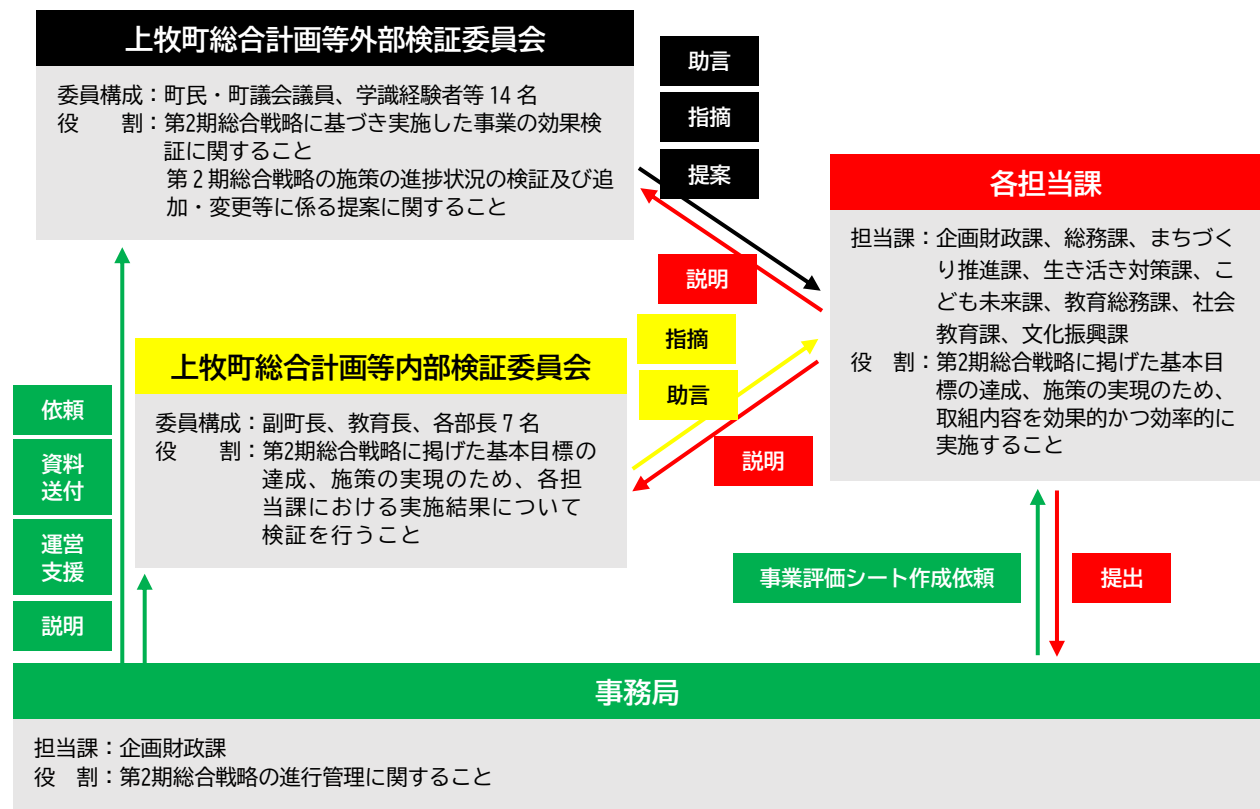
第2期総合戦略では、基本目標の達成に向け、各施策を実現していくための手段として、掲げている取組内容を効果的かつ効率的に実施していくこととしており、それを踏まえ、施策を構成する取組内容ごとに「事業評価シート」を作成し、その自己評価に基づき内部及び外部検証委員会で評価判定を行っています。

(評価区分)

A	B	C
推進できている	推進しているが、課題がある	推進できていない

(4) 検証体制

総合戦略（改訂版）の検証については、以下の体制で実施しています。



3. 提言書

(1) 概要

本書はこれまでの実施内容、検証結果、今後の方針、外部検証委員会での意見について取組内容ごとに取りまとめたものです。

(2) 目的

本提言書は、第 2 期総合戦略に位置付けられた取組について、「PDCA サイクル」を十分に機能させるために、外部検証委員会における客観的・専門的な視点からの意見等を勘案しながら、より効果的に取組を推進していくことを目的として、作成されたものです。

(3) 活用のポイント

原則としては、第 2 期総合戦略に位置付けられた取組の推進にあたり、取組内容や今後の方向性における妥当性の確認や見直しの検討に活用していただくものです。外部検証委員会における客観的・専門的な視点からの意見等を参考にすることで、成果指標（KPI）の目標達成に向けたアプローチの方法や取組を推進するための課題に対する解決策等の検討について、広い視野を持って取組を進めていくことができると考えます。

基本目標 1

若い世代の結婚・出産・子育て・教育の
希望を叶える

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実
施策	① 子どもの学力向上支援

取組内容 ICT を活用した教育支援

担当課：教育総務課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
教員向け研修開催回数（年間）【回】	2	1	-	-				2
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
B	B					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第2回 R06/11/21)								
○ICT は便利な面もあれば、危険な面もある。使いこなせる人とそうでない人に差が生まれることは間違いないが、上牧町子どもだけが後れを取るわけにはいけないので、最優先課題として取り組んでもらいたい。								
○教員の授業分担等も見直ししながら、情報機器を活用した授業のあり方を検討してもらいたい。								

取組内容 学習支援教室（まきっ子塾）の開催

担当課：社会教育課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
「まきっ子塾」参加児童満足度【%】	-	-	70.8	70.8				80.0
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第2回 R06/11/21)								
○成績の二極化を教育委員会は懸念しており、その是正のために始まったのがまきっ子塾である。そういった観点からまきっ子塾は一定の成果があったと考えられる。								

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実
施策	② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト

取組内容 学校を中心とした地域コミュニティ網の形成

担当課：社会教育課／教育総務課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
コミュニティ・スクール制度導入に向けた検討会議の開催数（年間）【回】	4	1	1	1				5
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
B	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第2回 R06/11/21)								
○コミュニティ・スクールの内容として学校の運営に参加するという面と、学校運営を支援するという二面性がある。全国の公立学校におけるコミュニティ・スクールの導入は 50%を超えてきたが、学校運営に参画している地域はまだまだ少ない。学校支援という面で上牧町が他市町村に引けをとっていることはないが、学校運営の面にも着目し、コミュニティ・スクールの上牧町版をつくってほしい。								

取組内容 学校支援事業の運営

担当課：社会教育課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
学校支援ボランティア登録者数（年間） 【人】	238	217	254	243				250
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第2回 R06/11/21)								
○住民の力で住民を動かすということが必要になってくると考えるので、現在ボランティアをしていた だいているかたの思いを次につなげる役割を住民に担ってもらうことを検討してもらいたい。								

取組内容 学校・家庭・地域の連携による人権教育の推進

担当課：社会教育課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
ヒューマンライツセミナー新規受講者数（累計）【人】	-	-	89	73				50
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
A	A							
外部検証委員の意見								
(第 2 回 R06/11/21) 意見なし								

取組内容 学校と連携した読書活動の推進

担当課：文化振興課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
図書の団体貸出を行う学校数（年間） 【校】	1	2	3	4				5
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第2回 R06/11/21)								
○子どもも興味のない本は読まないだろうから、子どもたちのリクエストを把握できるような仕組みづくりをしてもらいたい。								
○上牧町の現状として全国学力・学習状況調査の結果が芳しくなく、特に国語力が低いという課題がある。国語力は他教科にも影響を及ぼすので、子どもたちの読書量を増やすという意気込みをもって取り組んでももらいたい。								

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実
施策	③ 地域ぐるみの子育て支援

取組内容 情報交換拠点の充実

担当課：こども未来課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
情報交換拠点（つどいの広場・おひさま広場）の利用者満足度【%】	-	92.7	96.0	93.1				80.0
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第 3 回 R07/1/23)								
意見なし								

取組内容 預かり保育事業の実施

担当課：こども未来課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
預かり保育の延べ利用者数（年間）【人】	797	888	1,107	945				1,100
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
C 推進できていない								
外部検証委員の意見								
(第3回 R07/1/23)								
○現場の先生が業務多忙であることは承知であるが、預かり保育の時間延長等についてのニーズ調査をする必要があると考えるので、今後検討してもらいたい。								

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実
施策	④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実

取組内容 就学前の学習環境の充実

担当課：教育総務課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
幼稚園児と小学校児童の交流回数（年間）【回】	-	-	1	1				3
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
A	A							
外部検証委員の意見								
(第2回 R06/11/21) ○2015年から新制度に変わり、できるだけ全体的に見ていこうというように制度上は動いていると思う。子どもがどこに行っても同じようなことが学べて、経験できるように取り組んでもらいたい。								

取組内容 特色ある乳幼児教室の開催

担当課：こども未来課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
乳幼児教室開催数（年間）【回】	36	36	36	36				36
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
							C 推進できていない	
外部検証委員の意見								
(第3回 R07/1/23)								
○感覚を養うということは子どもたちにとって重要なことであると考えるので、引き続き施策を実施してもらいたい。								
○幼保連携こども園を設立すると効率的に教育施策を展開できると考えられることから、どうすれば早期の開園が実現するのかということを考えてもらいたい。								
○子どもの数が減るから学校や幼稚園・保育園の統廃合を進めるという考え方では縮小再生産となり、望ましいのかについては議論の余地がある。統合の有無関係なく、多面的に考えていってもらいたい。								

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実
施策	⑤ 多様な学びの場における支援

取組内容 通級指導教室（ペガサス教室）の充実

担当課：教育総務課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
通級指導教員数【人】	4	5	6	6				5
3. 評価（CHECK）								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
（第 2 回 R06/11/21） 意見なし								

取組内容 ほほ笑み教室の開催

担当課：健康推進課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
ほほ笑み教室利用者満足度 (5 段階評価)	4.7	4.6	4.8	4.6				4 以上
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						評価基準	C 推進できていない	
外部検証委員の意見								
(第 3 回 R07/1/23)								
○上牧町の子育て支援は評判が良いので、引き続き事業を展開してもらいたい。								

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実
施策	⑥ 青少年の健全な育成

取組内容 様々な専門講座の開催

担当課：社会教育課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
専門講座開催回数（年間）【回】	6	3	6	6				6
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第2回 R06/11/21)								
○町は様々なイベントを企画していると思うが、その際に小学6年生や中学生の能力を活かすべく、大人と一緒に企画段階から参画するような取組を検討してもらいたい。								
○様々な機会を子どもに提供していくことは非常に良いことであるとする。また、地域にも様々なサークルがあると思うので、行政が直接手がけることも重要であるが、地域の資源を活かしていくことも検討してもらいたい。								

取組内容 青少年の生涯学習機会の確保と次世代の育成

担当課：社会教育課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
ジュニアリーダー研修新規登録者数（年間）【人】	-	16	7	11				10
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
B	B					B 推進しているが、課題がある		
C 推進できていない								
外部検証委員の意見								
（第2回 R06/11/21） ○地域の様々な可能性を考えてリーダー養成ができれば良いと思う。 ○従来の参加募集方法だけではなく、地域で青少年の次世代リーダーを育てる枠組みについて考えてもらいたい。								

取組内容 キャリア教育及び職業教育の実施

担当課：教育総務課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
県内企業や地域との交流活動回数（年間）【回】	2	2	2	2				3
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
（第2回 R06/11/21） ○町に愛着を持ってもらうことや町内に様々な職業があることを知るためにも、講師を学校に招いて講演をしていただくよりも、現場学習の方が望ましいと考えるので、今後検討してもらいたい。								

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実
施策	⑦ グローバル人材の育成

取組内容 国際交流事業（世界に伍して活躍するグローバル人材の上牧町育成事業）の推進

担当課：教育総務課

KPI の状況

KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
国際交流事業実施回数（累計）【回】	-	-	-	1				5

評価

R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている
B	A					B 推進しているが、課題がある
						C 推進できていない

外部検証委員の意見

（第 2 回 R06/11/21）

○若年期に他国に行くというのは、国際交流グローバル人材ということだけではなく、差別意識を無くすことや異文化理解を深めるという観点からも重要であると考えてるので、拡大の方向で取り組んでもらいたい。

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える
基本的方向	1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援
施策	① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援

取組内容 出会い・結婚応援事業の実施

担当課：こども未来課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
出会い結婚応援事業による成婚者数【組】	4	5	7	9				15
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第3回 R07/1/23)								
○他人との関わりが希薄なこの時代に相談できる環境整備をし、結果が伴っていることは評価できる。								

取組内容 プレパパママ教室の開催

担当課：こども未来課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
プレパパママ教室参加割合【%】	31.5	21.1	28.0	29.4				30.0
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
A	A							
外部検証委員の意見								
(第3回 R07/1/23) 意見なし								

取組内容 不妊・不育症治療助成制度の周知・啓発

担当課：健康推進課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
不妊・不育症治療助成事業認知度（よく知っている、名前だけ知っている人の割合）【％】	53.6	50.4	43.5	50.0				100
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
（第3回 R07/1/23） ○予算は限りあるものであることは承知しているが、医療にかかるとなるとお金が様々なところで必要になるので、予算確保に向けて引き続き施策展開してもらいたい。								

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える
基本的方向	1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援
施策	② 子育ての希望を叶えるための支援

取組内容 乳幼児健診受診の促進

担当課：健康推進課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
乳児健診受診率【%】	95.5	92.9	98.0	100.0				100
幼児健診受診率【%】	89.7	87.9	93.8	95.3				100
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
A	A							
外部検証委員の意見								
(第3回 R07/1/23) ○未受診者対応含め、とてもきめ細かく施策をされていると考える。引き続き施策展開をしてもらいたい。								

取組内容 子育て世代への訪問型個別支援の拡充

担当課：こども未来課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
赤ちゃん訪問実施率【%】	98.0	94.3	95.3	100.0				100
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第3回 R07/1/23)								
意見なし								

取組内容 子育て支援の充実

担当課：こども未来課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
子育て支援セミナー参加延べ人数（年間）【人】	-	-	18	18				40
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第3回 R07/1/23)								
意見なし								

基本目標②

上牧町への新しい人の流れをつくる

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる
基本的方向	2-1 既存ストックの利活用促進
施策	① 空き家活用プロジェクト

取組内容 空き家利活用の推進

担当課：まちづくり推進課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
空き家・空き地バンク登録件数（累計） 【件】	4	4	4	6				15
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
B	B					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第1回 R06/10/24) 意見なし								

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる
基本的方向	2-1 既存ストックの利活用促進
施策	② UR 住宅を核とした地域の魅力向上と移住・定住促進

取組内容 UR 都市機構等関係者との協議

担当課：企画財政課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
UR 都市機構等関係者とのまちづくりに 関する意見交換回数（年間）【回】	3	5	3	2				4
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価 基準	A 推進できている		
B	B					B 推進しているが、課題がある		
							C 推進できていない	
外部検証委員の意見								
(第1回 R06/10/24)								
○DIY やリノベーションという言葉ばかりが先行しており、実態が見えてこない。上牧町にある UR の人 気をしっかりと高めるとい意気込みを持って活性化してもらいたい。								
○町から積極的な働きかけや提案をすることが重要であるとする。								

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる
基本的方向	2-2 若年層の UIJ ターン促進と関心・認知度の向上
施策	① 公共交通の利便性向上

取組内容 上牧町地域公共交通会議の開催

担当課：まちづくり推進課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
上牧町地域公共交通会議開催数（年間） 【回】	-	-	-	-				2
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
C	B					B 推進しているが、課題がある		
C 推進できていない								
外部検証委員の意見								
（第1回 R06/10/24） ○公共交通は若者が地域に定着するうえでも重要である。特に上牧町は鉄道駅がないので、バスを中心とした公共交通政策をしっかりと議論してもらいたい。 ○令和8年度から協議会を開催するということであるが、前倒しして取り組んでももらいたい。								

取組内容 コミュニティバスの利用促進

担当課：総務課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
コミュニティバス延べ利用者数（年間） 【人】	42, 699	54, 747	66, 141	79, 229				60, 000
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価 基準	A 推進できている		
B	A					B 推進しているが、課題がある		
C 推進できていない								
外部検証委員の意見								
（第3回 R07/1/23） ○上牧町は鉄道駅がないことから、他市町村と比較して特に地域公共バスには力をいれないといけ ない。重要課題として政策形成をし、抜本的な見直しを図ってもらいたい。 ○高齢社会である現代において喫緊の課題であると考えるので、住民ニーズにしっかりと目を向けデマ ンド交通についても検討いただきたい。								

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる
基本的方向	2-2 若年層の UIJ ターン促進と関心・認知度の向上
施策	② 関係人口・交流人口の創出

取組内容 観光プログラムの企画・周知・運営

担当課：まちづくり推進課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
観光イベントの実施・参加回数（年間） 【回】	－	3	4	6				2
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
B	B					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第 1 回 R6/10/24)								
意見なし								

取組内容 イベント等におけるふるさと回帰・移住促進 PR 活動の実施

担当課：企画財政課

2. 実施結果（D0）								
KPI の状況	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
プロモーション活動・媒体の認知度【%】	50.6	38.0	40.0	33.3				60.0
3. 評価（CHECK）								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
（第1回 R06/10/24）								
○町の知名度向上を目的として、町との触れ合いの機会を確保することが重要である。								

取組内容 大学や企業との連携によるブランディングの推進

担当課：企画財政課

2. 実施結果（D0）								
KPI の状況	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
ホームページへのアクセス数（年間） 【回】	287, 870	461, 429	274, 794	253, 220				500, 000
3. 評価（CHECK）								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
							C 推進できていない	
外部検証委員の意見								
（第 1 回 R06/10/24） ○取組内容としてふるさと納税がメインとなっていることから、今後 KPI の見直しを検討してもよいと思う。								

取組内容 移住支援金事業

担当課：企画財政課

2. 実施結果（D0）								
KPI の状況	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
移住支援金申請件数（年間）【件】	-	-	1	-				1
3. 評価（CHECK）								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	B					B 推進しているが、課題がある		
							C 推進できていない	
外部検証委員の意見								
（第1回 R06/10/24） ○国と県の予算によって全体の 75%が賄われているので、事業を実施するデメリットはなさそうであるが、今後の方向性については引き続き検討していただきたい。								

取組内容 SNS を活用した情報発信と企画の実施

担当課：企画財政課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
SNS の延べフォロワー数【人】	2,500	4,271	5,345	5,864				5,500
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
（第1回 R06/10/24） ○SNS の運用について、誰に対しての情報発信をしているのかがわかりにくいと感じたので、発信の仕方についても工夫してもらいたい。 ○アンケートをとる等、ただ情報発信をするだけではない SNS の使い方も検討してもらいたい。								

基本目標③

地域がつながり、魅力ある安全・安心な
まちをつくる

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる
基本的方向	3-1 地域資源を活用した魅力創出
施策	① 公共施設の相互利用

取組内容 公共施設広域連携検討会の開催

担当課：総務課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
公共施設の満足度【%】	14.7	-	-	-				35.0
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
B	B					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第3回 R07/1/23)								
○施設の老朽化に伴う建て替えが必要になった際に代替利用ができるという点において、公共施設の相互利用は有効であると考えてるので、上牧町の認知度を高めるためにも引き続き施策展開をしてもらいたい。								

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる
基本的方向	3-1 地域資源を活用した魅力創出
施策	② 地域資源の整備

取組内容 史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進

担当課：社会教育課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
史跡上牧久渡古墳群の整備【%】	40.0	40.0	50.0	55.0				100.0
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
B	B					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第2回 R06/11/21) 意見なし								

取組内容 かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業

担当課：まちづくり推進課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率【%】	47.0	89.0	89.0	89.0				100.0
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
B	B					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第1回 R06/10/24)								
意見なし								

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる
基本的方向	3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進
施策	① 地域活動の支援・促進

取組内容 町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進

担当課：企画財政課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
上牧町まちづくり人財バンク登録者の 活用人数（年間）【人】	7	6	4	6				20
上牧町まちづくり人財バンクの登録者 数【人】	30	30	37	37				45
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評 価 基 準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
B	B							
外部検証委員の意見								
(第1回 R06/10/24) ○登録は自薦で行っているということだが、自薦のみだと優秀な人材を逃している可能性がある。他薦 による登録も導入してもらいたい。								

取組内容 地域活動団体の設立及び活動支援

担当課：企画財政課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
新規地域活動団体年間設立数（累計）【団体】	－	1	2	3				20
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
B	B					B 推進しているが、課題がある		
							C 推進できていない	
外部検証委員の意見								
（第1回 R06/10/24） ○町内会等の既存の団体に応募を働きかけることに加え、町民によって構成されるサークルのような団体に1歩前に踏み出してもらい社会活動をしてもらえるよう呼びかける等、地道にボランティア活動が広がる下地をつくることを考えてもらいたい。								

取組内容 上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業の活用推進

担当課：企画財政課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
上牧町協働のまちづくり公募型補助金 申請団体数（年間）【団体】	3	5	2	4				7
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評 価 基 準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
B	B							
外部検証委員の意見								
(第1回 R06/10/24)								
○団体の自立含め、今ある団体に事業を継続してもらうことが重要であるとする。								

取組内容 歴史ガイドボランティアの養成

担当課：社会教育課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
歴史ガイドボランティアの養成人数（目標年度終了時点）	18	17	16	14				30
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
B	A							
外部検証委員の意見								
（第2回 R06/11/21） ○ボランティア数が減少しているということなので、大きめのイベント等の機会を活用し、周知してもらいたい。								

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる
基本的方向	3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進
施策	② 防災・防犯活動の支援・促進

取組内容 防犯活動の実施支援及び近隣自治体との広域連携

担当課：総務課

2. 実施結果（D0）

KPI の状況	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
地域防災訓練の支援回数（年間）【回】	-	1	2	2				3
広域防災訓練開催に向けた検討会議の開催数（年間）【回】	-	-	-	-				1

3. 評価（CHECK）

R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている
B	B					B 推進しているが、課題がある
						C 推進できていない

外部検証委員の意見

（第3回 R07/1/23）

○広域連携の頻出課題として、リーダーが決まらず事業が停滞するということがある。そこで、県にリーダーとなってもらい事業を実施するという方法が最も効率的だと考えるので、検討してもらいたい。

取組内容 子ども防災意識の向上

担当課：総務課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
子ども防災意識の向上教室の開催数（年間）【回】	-	-	1	1				1
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
A	A					B 推進しているが、課題がある		
							C 推進できていない	
外部検証委員の意見								
（第3回 R07/1/23） ○子どもの防災意識の向上について、中学生を中心に意識を高める施策を展開すると有効であると考える。								

取組内容 防犯活動の支援

担当課：総務課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
防犯カメラ設置台数【台】	24	30	36	37				36
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
B	A					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第3回 R07/1/23) ○青色パトロールを実施していない自治会に町から実施を呼びかけてもらいたい。 ○防犯カメラは犯罪の抑止力として働くと考えるので、設置台数増加に向けて取り組んでもらいたい。								

基本目標④

誰もが働きやすい環境をつくる

基本目標	4 誰もが働きやすい環境をつくる
基本的方向	4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援
施策	① ハローワークや町内事業者と連携した就職支援

取組内容 就職準備セミナーの開催

担当課：企画財政課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
就職支援セミナー等への参加者数（年間）【人】	15	8	2	8				30
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
B	B							
外部検証委員の意見								
（第1回 R06/10/24） ○セミナーを企画しても、その存在を知らないというかたが非常に多いので、各種セミナーの周知に注力してもらいたい。 ○参加者が年々少なくなっているということだが、該当者が減少しているという要因もあるだろう。状況の変化にも上手く対応しつつ、施策を考えてもらいたい。								

取組内容 町内事業者とのマッチング支援

担当課：企画財政課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
マッチングイベント等参加事業者数（年間）【事業者】	1	-	1	-				3
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている		
B	C					B 推進しているが、課題がある		
						C 推進できていない		
外部検証委員の意見								
(第1回 R06/10/24)								
○町内事業者の振興をどのように進めていくのか、地域経済の活性化をどのように事業者と考えていくのかという視点をもって、効果的なマッチングについて議論してもらいたい。								

基本目標	4 誰もが働きやすい環境をつくる
基本的方向	4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援
施策	② 子育てしながら安心して働ける環境の整備

取組内容 子育てと就労の両立支援

担当課：こども未来課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
病児・病後児保育施設登録者数【人】	77	84	93	112				120
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
A	A							
外部検証委員の意見								
(第3回 R07/1/23) ○取組内容として病児・病後児保育事業と学童保育運営事業がまとめられているが、性質が異なる事業であるため、今後新たに展開する場合は KPI を別立てしてもらいたい。								

取組内容 子育てママ就業支援事業の実施

担当課：企画財政課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
子育てママ就業支援施設での延べ雇用者数（年間）【人】	26	45	46	53				50
子育てママ就業支援施設稼働率（年間）【%】	53.9	83.6	78.9	80.0				70
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
A	B							
外部検証委員の意見								
(第1回 R06/10/24) 意見なし								

基本目標	4 誰もが働きやすい環境をつくる
基本的方向	4-2 新たな雇用創出の支援・促進
施策	① 地域産業の活性化と担い手の育成

取組内容 就農支援（担い手育成）と農産物の販路確保支援

担当課：まちづくり推進課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
新規就農者数（年間）【人】	-	-	1	1				1
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
B	A							
外部検証委員の意見								
(第1回 R06/10/24) ○農業で生計を立てるのは難しいことなので、簡易な指導にとどまらず、農業を続けていただけるようなサポートが必要だと考える。								

取組内容 地域資源を活用した商品開発と販路確保支援

担当課：まちづくり推進課

KPI の状況								
KPI	基準値	実績値						目標値
	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R08
新たな地域農産物（累計）【品目】	-	-	-	-				2
評価								
R04	R05	R06	R07	R08	評価基準	A 推進できている B 推進しているが、課題がある C 推進できていない		
B	B							
外部検証委員の意見								
(第1回 R06/10/24)								
○地元の農家のかたにとっても学校給食に提供するとなると、一定の売上が見込めることに加え、児童生徒にとっても食の教育につながるので有効であるとする。								